

衣里小学校

児童数 64人
所在地 奥州市衣川堰下7番地2
☎ 52-3572



衣里小学校は、学区が平泉町と隣接しており、奥州市の南玄関に当たります。創立133年目を迎え、保護者にも本校の卒業生が多く、学校に対し関心や協力も積極的で支援・協力の熱い地域です。また、この地は近年の遺跡発掘の結果、古くは安倍氏時代・奥州藤原氏時代の歴史の要所であることが明らかにされつつあるところです。

学校教育目標を「ふるさとを愛し 未来を拓く里の子」と掲げ、全校児童では「衣里小三つの宝（あいさつ・朝マラソン・剣舞）」に取り組んでいます。

あいさつ

宝の一つ目は「あいさつ」です。児童会を中心に、元気で明るいあいさつをするように全校で取り組んでいます。本校は、毎日地区毎の集団登校をしており、昇降口に入る前に、整列して元気にあいさつをしてから校舎に入ります。毎朝、校長と副校長が昇降口前で児童を迎えています。元気なあいさつから始まる一日は、とても気持ちがよいものです。

学校通信

2年生による「里の子郵便局」

2年生11人は、校外学習で郵便局を見学し、学んだことを学習発表会で発表しました。さらに校内に「里の子郵便局」を開設し、職員も含む全校ではがきのやりとりを行いました。各学級の郵便番号や住所は2年生が設定し、廊下にポストも設置されました。郵便局の営業時間は休み時間。はがきの販売、消印の押印など11人の郵便局員さんが大忙しでした。はがきは1枚がペットボトルキャップ2個と交換。学級の友達へ、お世話になっている高学年へ、感謝の気持ちなどをお互いに伝え合う素敵な活動となりました。



仕分け作業をする2年生

朝マラソン

宝の二つ目は、朝マラソンです。毎週火曜日の全校・児童朝会以外は、毎朝10分間校庭を走ります。マラソンの時間は決まっていますが、登校後すぐに、校庭に出て走り始める児童がほとんどです。雨や校庭の状態が悪い日以外は、毎日走っています。雪が積もっていてコースが見えなくても、校庭に出ていく姿を見ていると、伝統が染みついているのだと感じられます。



元気いっぱいに走ります

本年度は、2学期までの合計が1,000周を超える児童も数名いました。

剣舞

宝の三つ目は、地域に伝わる郷土芸能「川西大念仏剣舞」です。亡者を浄土に導くという剣舞で、地域の保存会の皆さまにも支えられ、毎年5・6年生が、「運動会」と「学習発表会」に披露しています。2学期後半からは、5・6年生が4年生に指導し、2月には6年生が舞納めをする剣舞伝承式を実施しています。



息を合わせ勇壮に舞います

4年生による「エコ活動」

総合的な学習の一環として、「ペットボトルキャップの回収」を行いました。常時、昇降口前にペットボトルキャップ回収箱を設置していますが、4年生10人がキャップの回収に取り組んでくれました。集めたキャップの使い道や必要性を書いたポスターを4年生が作成し、各教室を回って呼び掛けました。4年生がエコ活動に取り組んだ期間には、45%のごみ袋3つ分集まりました。取り組み終了時には、「集めたキャップでワクチンを買うことができます」と各学級、職員室、校長室に報告してくれました。



エコ活動の様子

医療通訳者養成研修会

日本語を母語としない人たちの受診をサポートする医療通訳者を養成するため、1月17日と24日、医療通訳者養成研修会が開催されました。県南広域振興局の委託を受け、市国際交流協会が実施。市内外から26人が参加し、医療通訳に必要な知識を受講したほか、模擬通訳練習を通じて医療通訳への理解を深めました。一般社団法人日本公共通訳支援協会（Cots）の西村明夫代表などが講師を務め、オンライン形式で開催。講義で西村代表は「患者は病気と治療方法を、家族は治療のためにこれから何をしたら良いのかを知りたい。患者と家族は医師の言ったことを正しく理解することが必要」「医療通訳者は忠実、正確に訳すことが大事であり、要約してはいけない」などと強調しました。



ILC計画の実現により、この地域に滞在する外国人の増加が見込まれる中、市では市国際交流協会と協働で医療通訳ボランティアを派遣する取り組みを実施しています。今回の研修会に参加した人たちのなかにもボランティアになってもらうことで、医療通訳の取り組みがより広がり、地域の外国人の居住環境が向上していくことが期待されます。



研修を受講する参加者

ベロニカのやさしい日本語



こんにちは！ ILC国際化推進員のベロニカです。「やさしい日本語」を、私の体験を交えてお伝えします。来日したばかりのころ、何かの手続きで「生年月日をお願いします」と言われました。実は「生年月日」という言葉を聞いたのはこのときが初めてで、意味が分かりませんでした。聞き返すと「誕生日はいつですか」と言い換えてくれました。簡単な言葉への言い換えがとても役立つ例です。

ILC関係の多くの外国人研究者は、将来、日本に住むことを楽しみにしているようです。生活を最大限に楽しむため、日本語を勉強する研究者もいるでしょう。地域の皆さんにはぜひ「やさしい日本語」を使っただけで、日本語を習いたての人とも豊かなコミュニケーションを築いていただきたいと思っています。

立春も過ぎ、暦の上では春ですが厳しい寒さが続いています。いかがお過ごしですか。信金中央金庫から同金庫創立70周年を記念し、企業版ふるさと納税制度を活用した寄付金1千万円を頂くことになりました。1月19日、贈呈式に出席しました。寄付金は、奥州いさわカヌー競技場の環境整備など、市のカヌー振興のため有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



1月11日、市消防団の出初式に出席しました。新型コロナウイルスの影響により、例年実施している分列行進などは行わず、出席者を限定し、式典のみの実施となる中、防火・防災への決意を新たにしました。災害に強い、市民が安全安心に暮らせるまちづくりを、消防団の皆さんと連携し進めてまいります。

1月23日、市スポーツ顕彰表彰式に出席し、長年、競技団体の運営に貢献し、地域のスポーツ振興に寄与された皆さんを表彰しました。被表彰者の皆さんのさらなる活躍に期待するとともに、市としてもスポーツに親しむ環境づくりに取り組んでまいります。

年末年始の大雪は、近年まれに見る積雪量となり、市民生活に大きな影響が生じました。特に、ビニールハウスの倒壊など農業関係の被害が甚大なものとなりました。国、県、関係団体などと連携し、生産者が営農を継続できるよう、しっかりと支援に取り組んでまいります。

奥州市長 小沢昌記